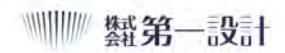


令和 4 年度 千曲市立屋代保育園 建設事業 基本設計方針説明書





鳥瞰イメージ

■基本方針・設計コンセプト

地域に見守られながら成長する保育園

住宅密集地に改築される屋代保育園は、既存園舎と近いことから、これまでの地域との交流で育んだ関係性が今後も続いていくものと思われます。住宅地に建つ保育園だからこそ、地域とのつながりを意識し、地域の人々に見守られながら、子どもたちが健やかに育つような環境を計画します。

(1) 歴史・街並み

・計画地は旧北国街道に面する敷地であり、屋代地区はかつて屋代宿として栄え、現在でも旅人を迎え入れるような構えをした古い建物が残る現状を踏まえて、子どもたちが自分の育った街の歴史を感じられるように、街道沿いの歴史ある建物を意識した外観と配置計画とします。

(2) 地域に開かれた保育園

・保育園の機能は保ちながらも将来的な利用を考慮し、多用途に使用できるような配置計画とします。
 ・保育園のイベントやボランティア活動でも地域の方が遊戯室や園庭を利用できるように、園舎内を通らず園庭側から遊戯室にアクセスできる計画とします。

(3) 安心安全な施設

・子どもたちが毎日の生活を安心・安全に過ごせるように、家具や建具、床の段差など細部まで配慮した計画とします。
 ・外部からの不審者の侵入を防ぐため、建物で周囲を囲み、日中の外部者の出入りを事務室で管理・監視できるような配置計画とします。
 ・水害を考慮し、建屋地盤面は東側市道から約1m上げ、国道のレベルに合わせます。
 ・万が一水害にあった際、残された保育士等が避難できるように一部2階を設け、重要書類等も2階で保管する計画とします。また、電気設備等の機器も現状地盤より極力高い位置に設置します。
 ・子どもの手の触れる高さの腰壁や建具は市内・県産材の木材を中心に使用し、内装の木質化を図り、温かみのある保育環境をつくります。

(4) 送迎のしやすい動線計画

・雨や雪の送迎時の利便性を考慮し、園舎前の駐車場から下屋を廻し、屋根のかかった外廊下を通り保育室まで送迎できる計画とします。
 ・駐車場内は一方通行とし、場内の見通しのよい配置計画とします。

(5) 異学年交流ができる環境

・保育園は子どもたちが初めて家庭から離れ、家族以外の人たちと共に生活をする場所であるため、園舎内の各所に園児同士が交流できる空間を設け、異学年との交流を通じて子どもたちの興味や好奇心を促すような計画とします。

(6) 保護者の相談の場

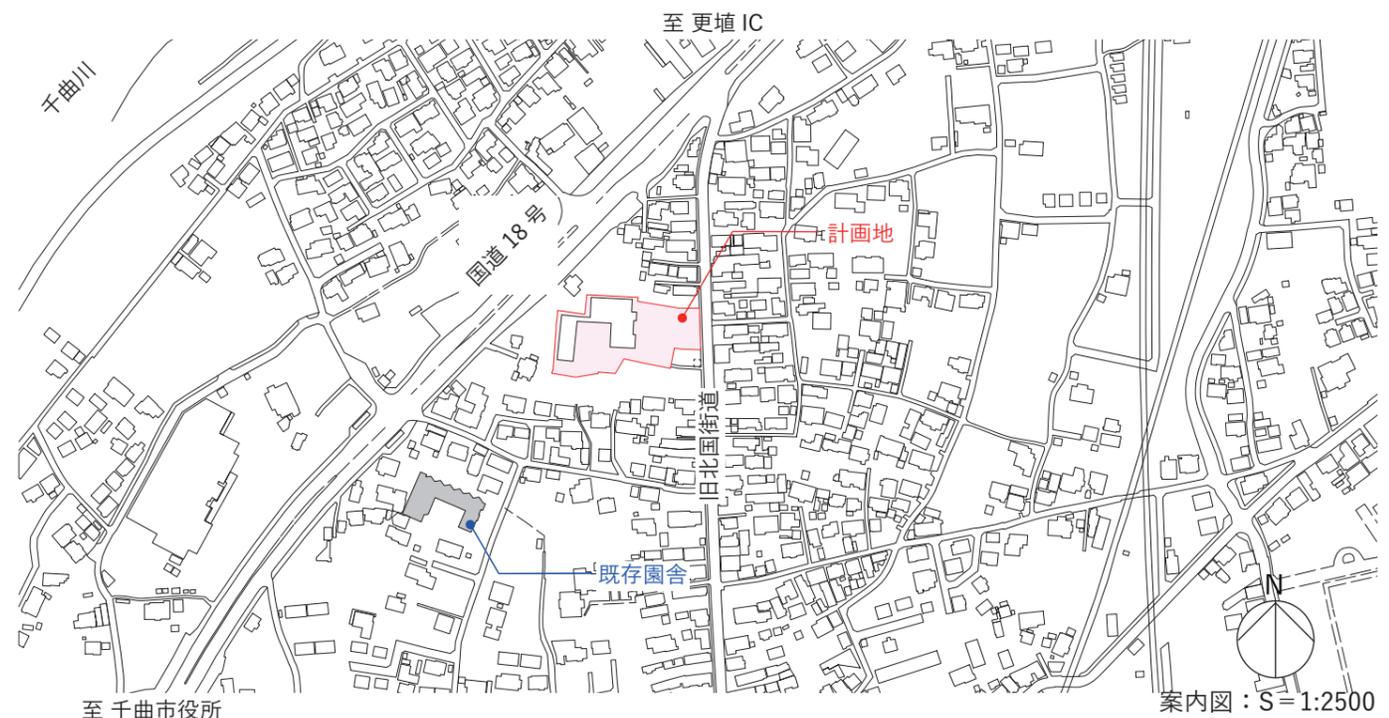
・保護者と保育士たちが日々の保育についての相談や保護者同士の交流が気軽にできるように、ゆとりのある交流スペースと2階には相談室を設けます。

■敷地概要

地名地番	長野県千曲市大字屋代 1673-1 他 18 筆
都市計画	非線引き都市計画区域
用途地域	第一種住居地域、準工業地域
建ぺい率	60%
容積率	200%
防火地域	法 22 条地域
周辺道路	東側：市道 4227 号線・幅員 約 9.0 ～ 9.2m・1 項 1 号道路 西側：(敷地内)市道 4052 号線・幅員 約 1.1m 建築基準法上の道路ではない(道路付替え予定)
緯度・経度・標高	北緯 36 度 32 分 36 秒・東経 138 度 7 分 36 秒・標高 356.40m
日影規制	適用建物 10.0m 以上 測定面 4m 日影時間 4 時間、2.5 時間(第一種住居地域)
道路斜線	1.25 (適用距離 20m)
隣地斜線	1.25 (立上り 20m)
北側斜線	なし

■建築計画概要

建築面積	1,743.36 m ²
延床面積	1 階：1,207.71 m ² 2 階：122.86 m ² 合計：1,330.57 m ²
構造	鉄骨造
階数	地上 2 階建て
主要構造部	準耐火構造(口準耐-2)
基礎形式	独立基礎 + 地盤改良
駐車台数	50 台
駐輪台数	5 台



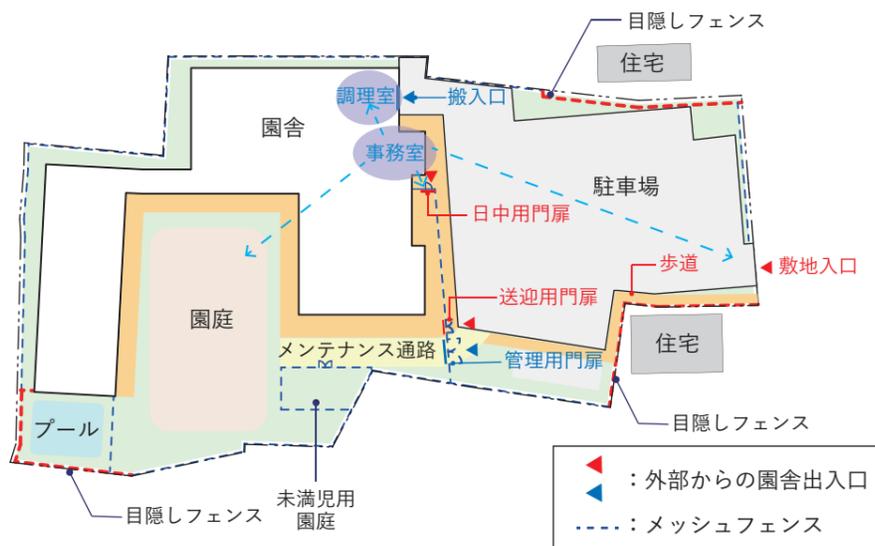
■配置計画

(1) 全体配置計画・地域とのつながり

- ・計画地は住宅や果樹園・畑、国道沿いの飲食店など周囲から多くの影響を受けやすい環境にあります。特に子どもを扱う施設を住宅地に建てる場合、周囲から騒音の対象とされる場合があります。
- ・隣接する北側と南側の住宅との境界には目隠しフェンスを設け、近隣住民の居住環境に配慮した計画とします。
- ・敷地の北西側の国道沿いの飲食店からの排気や北側の飲食店駐車場の視線の影響に配慮し、建屋北側に建物高さの大きい遊戯室を設け、園庭や保育室への影響を低減します。

(2) 動線計画

- 園児・保護者**
- ・各保育室へつながらる外廊下は駐車場側から下屋を設け、雨や雪の日の利便性に配慮します。
 - ・朝夕の送迎時は保育室までの歩行距離を短くするため、南側の門扉から出入りできる計画とします。
 - ・安全性に配慮し、駐車場内には歩道を設け、歩車分離を図ります。
- 職員・管理**
- ・調理室への搬入は、駐車場に面する北東側とし、子どもたちの日常の動線とは重ならない計画とします。
- 避難時**
- ・各保育室や遊戯室には裏口を設け、2方向の避難経路を確保します。



(3) セキュリティ計画

- ・建屋で園庭を囲み、外周部にはフェンスを設け、外部からの侵入を防ぎます。
- ・日中の外部から人の出入りは事務室前の門扉に集約し、不審者の侵入を防ぎ、素早く対応できる計画とします。

(4) 駐車場計画

- ・保護者・来園者用と職員用の駐車場をそれぞれ25台ずつ確保します。
- ・法的な規制により、出入口を設けられる場所や幅が限られるため、場内は一方通行の車両動線とし、見通しの良い配置計画とすることで、送迎時の渋滞緩和に配慮します。

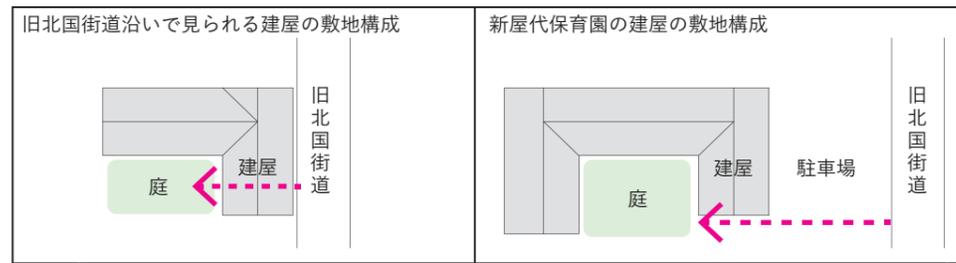
(5) 園庭計画

- ・園庭は日当たりのよい南面に間口を開き、また保育室からすぐに園庭に出られるような配置計画とします。
- ・隣接する果樹園と園庭との間に畑を設け、農薬散布の影響を極力防ぎます。
- ・未満児用園庭を未満児の保育室付近に設け、メンテナンス車両の進入時にも安心して遊べるようにフェンスを周囲に設けます。
- ・増加傾向にある未満児の保育環境向上のため、未満児専用の園庭を設けます。

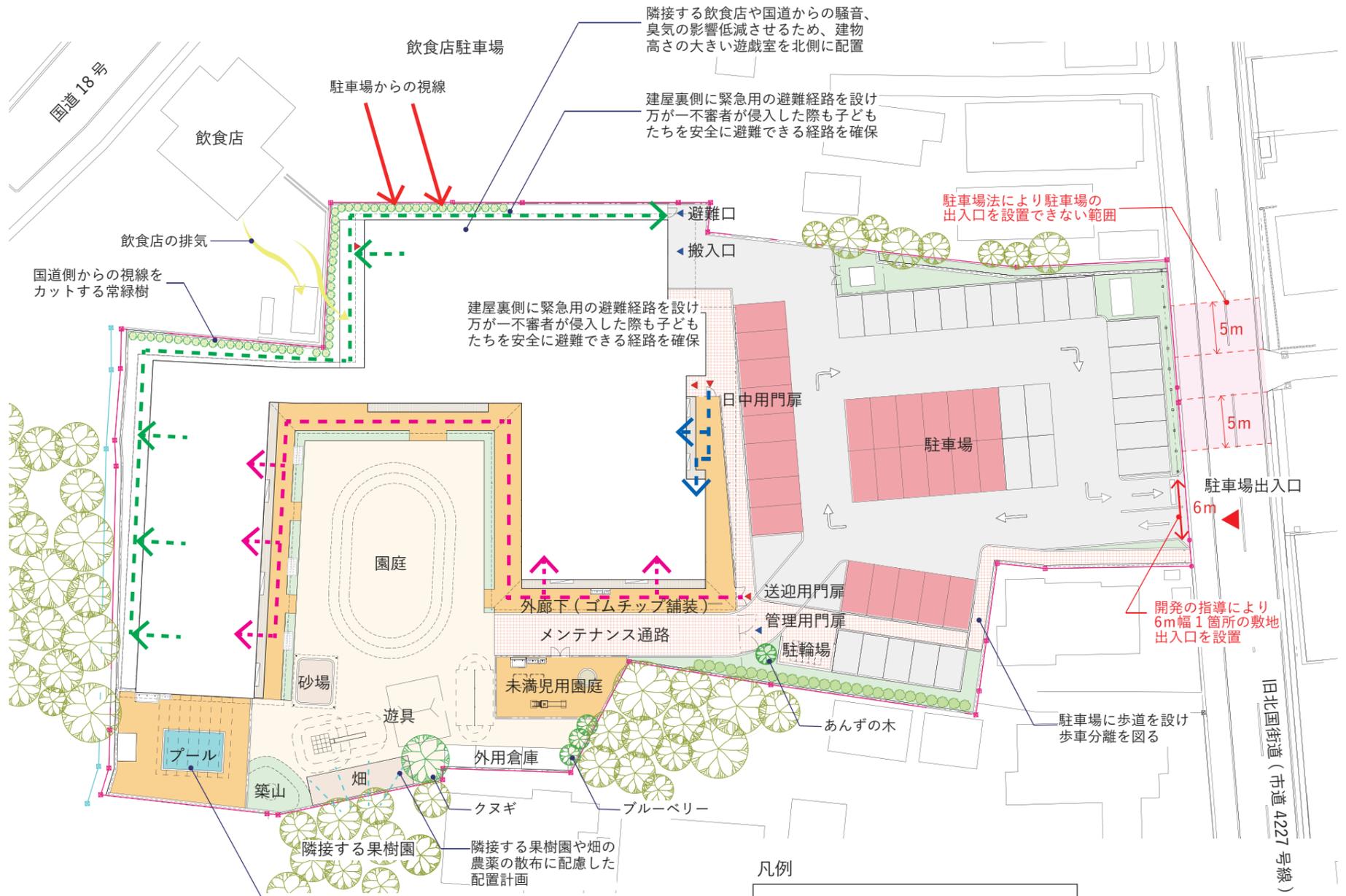
(6) 緑地計画

- ・敷地内にはクヌギ、あんず、ブルーベリーなど実のなる木を植栽し、子どもたちが手に採って遊べ、実に集まってくる鳥や虫の自然観察ができる環境をつくります。

建屋の敷地構成

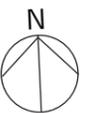


- ・旧北国街道沿いに残る屋代宿の名残のある建屋の敷地構成は、街道沿いに建屋を面して配置され奥に庭が広がり、宿泊者や訪問者が落ち着いて過ごせるつくりになっています。
- ・新たに計画する屋代保育園もその構成に倣い、街道沿いに建屋の顔を向け、奥に園庭を設け、子どもたちが安心・安全に過ごせる周りからの影響をできるだけ受けにくい敷地構成とします。



凡例

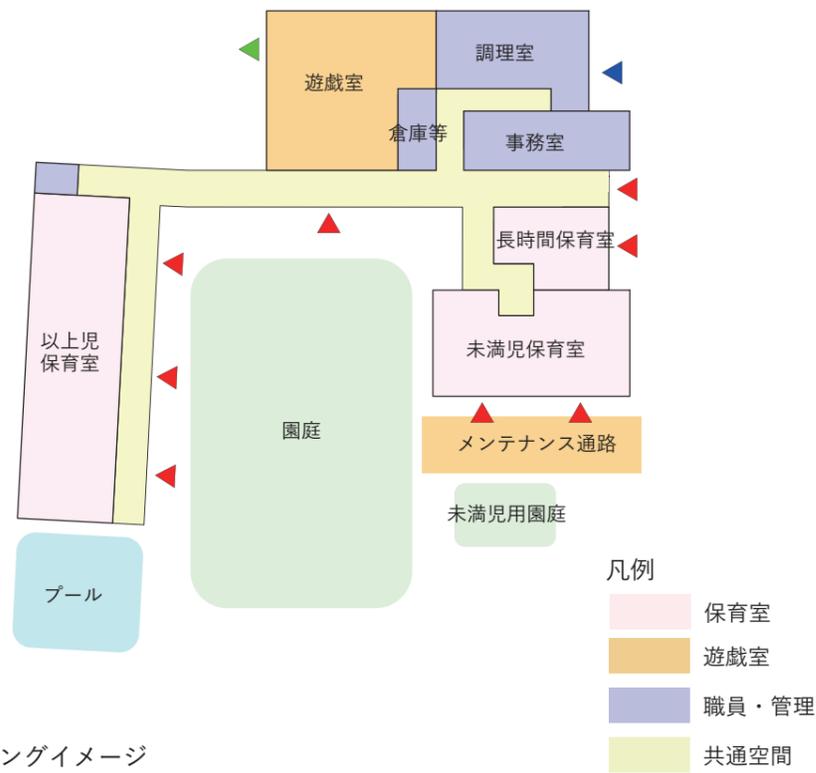
- ◀: 各保育室へのアプローチ
- ⋯: 長時間保育利用時の保育室へのアプローチ
- ◀: 避難経路
- ◻: 送迎用駐車場(予定)



配置図: S=1:500

■平面計画

〈南向きの明るく、風通しの良いコの字型の園舎〉



ゾーニングイメージ

保育室

- ・日中子どもたちが過ごす保育室は開口部を二面設け、風通しがよく、明るい室内空間を確保します。
- ・各保育室にはこども用トイレを隣接させるとともに、トイレ内には大人用トイレも配置し、職員の日常の負担を軽減します。
- ・長時間保育室前にはテラスを設け、雨天時や夕方でも半屋外で遊べる場を設置します。

遊戯室

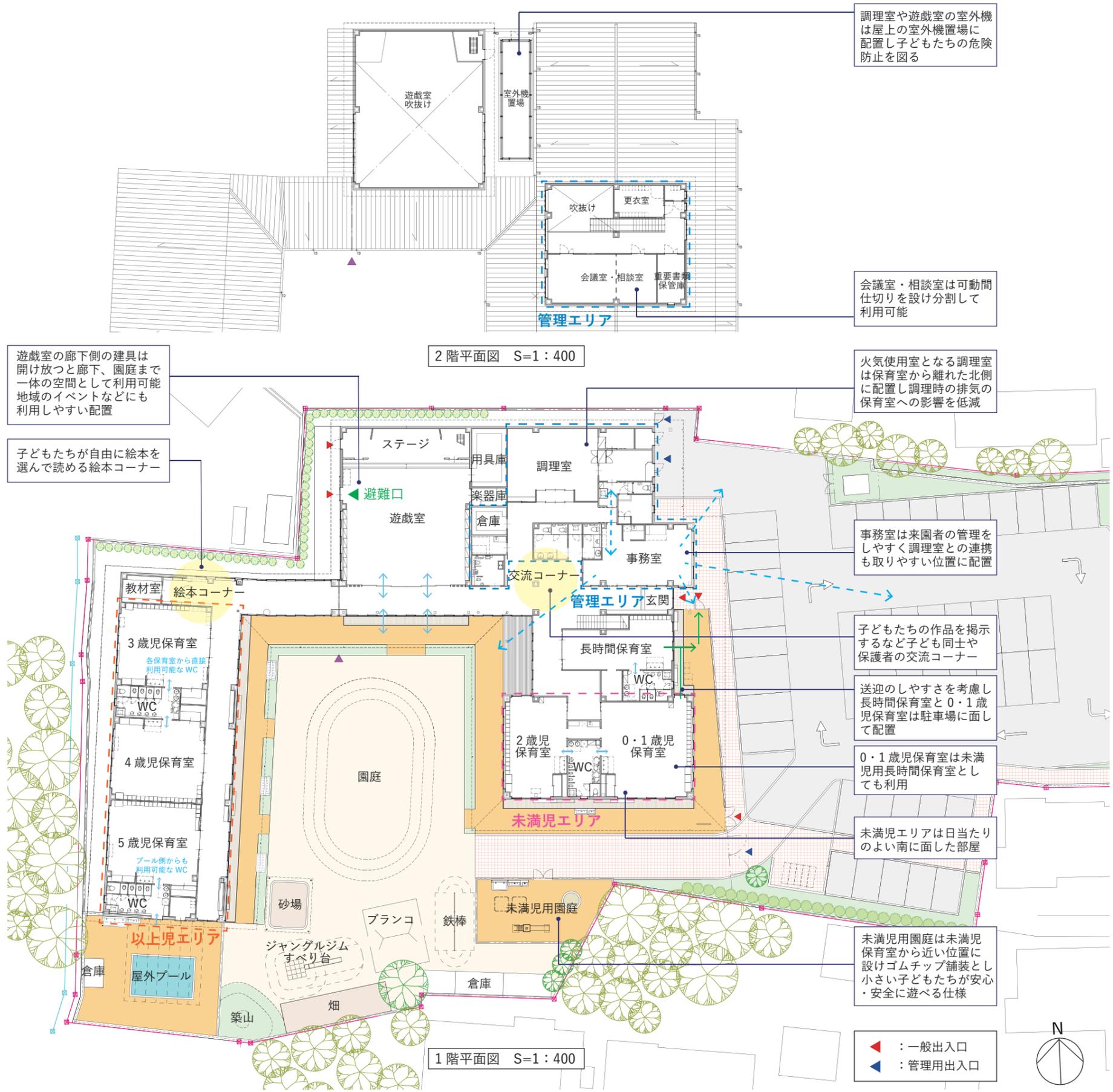
- ・園舎の中央に遊戯室を設け、園庭からも出入りしやすい配置とし、子どもたちが集まりやすく、保護者や来園者も園舎内を通過せずに利用できる配置計画とします。
- ・万が一不審者が侵入した場合には子どもたちを一時避難させ、遊戯室の避難口から子どもたちを安全に外に避難できる計画とします。

職員・管理

- ・管理の目が行き届くように事務室は駐車場に面する園舎の中心付近に設けます。
- ・長時間保育の子どもの管理や送迎の利便性に配慮し、事務室付近に長時間保育室を配置します。
- ・保護者や来園者が相談しやすいように、会議室・相談室は2階に設け、2階への階段は玄関脇に設けます。

共通空間

- ・共通空間となる屋根のある外廊下と内部廊下は園庭を囲うようにコの字型に設け、雨の日や雪の日も子どもたちがのびのびと園舎内で過ごせる空間をつくります。
- ・絵本コーナーや交流コーナーを設け、絵本棚や作品棚、掲示板等を各所に配置し、子どもたちの交流を促します。
- ・保護者が気軽に相談を行えるように事務室のエントランス側にカウンター窓を設け、エントランス部分にはゆとりのある交流空間を設けます。



S=1:400

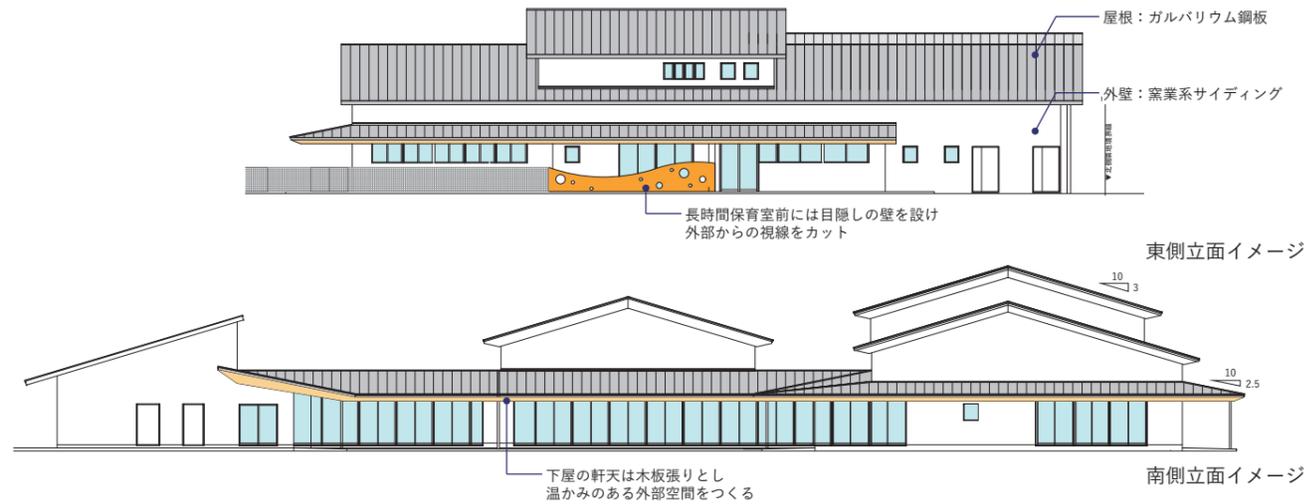
■立面・断面計画

(1) 外装材料について

- 旧北国街道沿いに残る宿場町の雰囲気を感じられる建物や街並みに馴染むよう黒と白を基調とした落ち着いた雰囲気を持った外観デザインとします。
- 外装材はメンテナンス性や機能性、耐久性に配慮し、屋根はガルバリウム鋼板の立ちハゼ葺き、外壁は窯業系サイディングとします。
- 周りの住宅に馴染むように、住宅の一般的な屋根勾配である3寸勾配と2.5寸勾配の屋根で構成し、下屋部分の軒先を低く抑えます。
- 落雪防止の為、雪止めを2段設け、周辺敷地への影響を低減します。

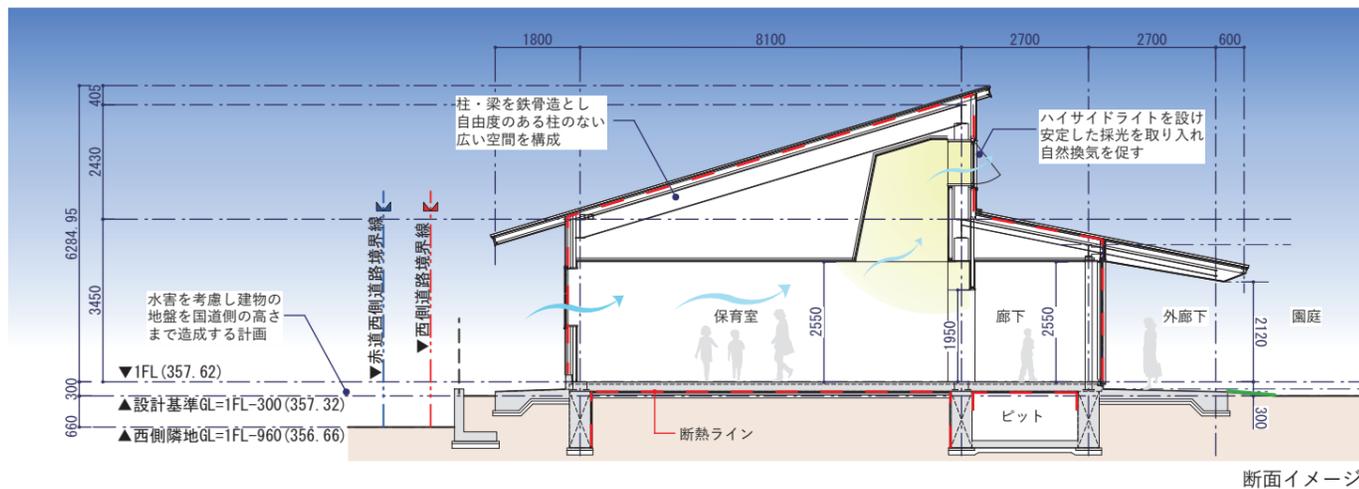


屋代地区の旧北国街道に残る藤屋旅館



(2) 断面計画・室内環境計画

- 保育室として適切な天井高さを確保し、上部に高窓を設けることで安定した採光と季節風を活かした換気を行い、快適な室内環境を確保します。
- 天井懐を活かした中間層により、夏季の日射の影響を軽減し空調機のランニングコストの負担を低減します。
- 断熱性能の高い建物とし、冬期は温まりやすく、夏季の冷房の運転を最小限でまかなえる建物とします。



(3) 構造計画

- 大スパンや平面計画に自由度があり、耐震性、耐久性に優れた鉄骨造を採用します。
- 大スパンが可能な鉄骨造のメリットを活かし、できる限り柱の本数を減らし、子どもの衝突防止に配慮します。

(4) 造成計画

- 建物の設計地盤高さを国道側のレベルに合わせ、敷地周囲とのレベル差が発生する境界部分には擁壁を設け、土砂の流出を防ぎます。
- 地盤改良等地業工事で発生する土を利用し造成を行い、できる限り土の搬出入を抑える計画とします。

■設備計画

(1) 電気設備

照明設備

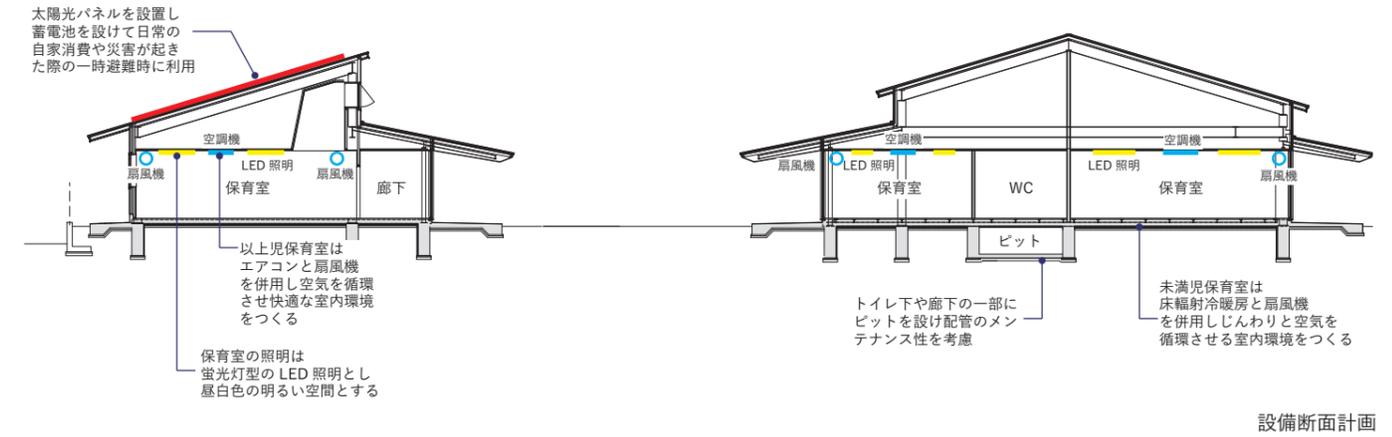
- 各室空間の照明方式は必要に応じて調光機能をもたせ常に最適な照度を創設します。
- 光源はLEDランプを使用し省エネルギー対策に準拠します。
- 軽量器具の一部を除くすべての照明器具は安全重視の観点から落下防止破損防止等の対策を行い園活動の支障とならないよう堅固に設置いたします。

受変電設備

- 受変電設備の容量は電気設備の負荷容量設備機器の容量を適切に把握した上、電力の需要を検討し選定します。
- 電力損失を軽減し電力設備の合理的運用を図るため適宜なコンデンサーおよびリアクトルを設置します。
- 子どもたちの安全性を考慮し変電設備は4方向施錠付きネットフェンスの中に設置します。

太陽光発電

- 省エネルギー対策の一部として太陽光エネルギーを電気エネルギーに変換し自家消費します。
- 太陽光の電力を使用することにより脱炭素CO2削減を図ります



設備断面計画

(2) 機械設備

空調換気設備

- 寒冷地用電気式ヒートポンプ空調機による冷暖房設備を設置します。
- 未満児保育室は空気方式の床輻射冷暖房を採用します。
- 3歳以上児保育室や事務室などの部屋は小型熱交換器+空冷ヒートポンプマルチエアコン（冷暖切替型）を採用します。

給水設備

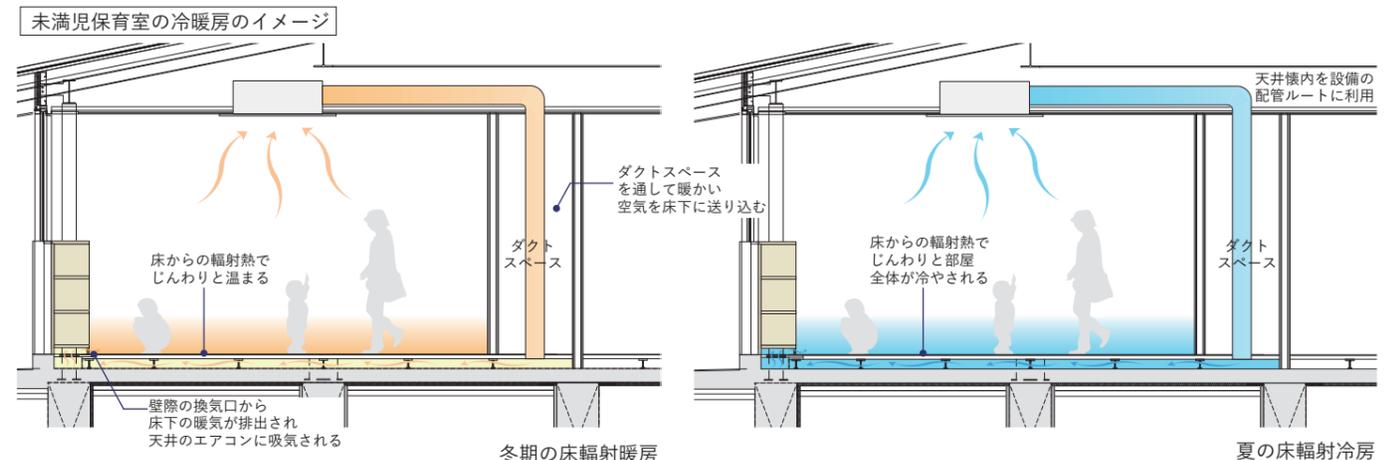
- 上水は水道直結給水方式とします。

衛生設備

- 衛生的、かつ使い勝手の良い機器を選定します。
- 園児に使いやすく、安全な機器を選定します。
- 大便器は、温水洗浄便座を採用します。
- 一般トイレ洗面手洗器には、自動混合水栓を設置します。

厨房設備

- 厨房設備は衛生的で安心・安全な給食を子どもたちに届けられるよう、最新基準のHACCP等に沿って設計し、機器を選定します。



冬期の床輻射暖房

夏の床輻射冷房



鳥瞰イメージ



旧北国街道からの外観イメージ



園庭からの外観イメージ



遊戯室と廊下、外部までつながる内観イメージ